

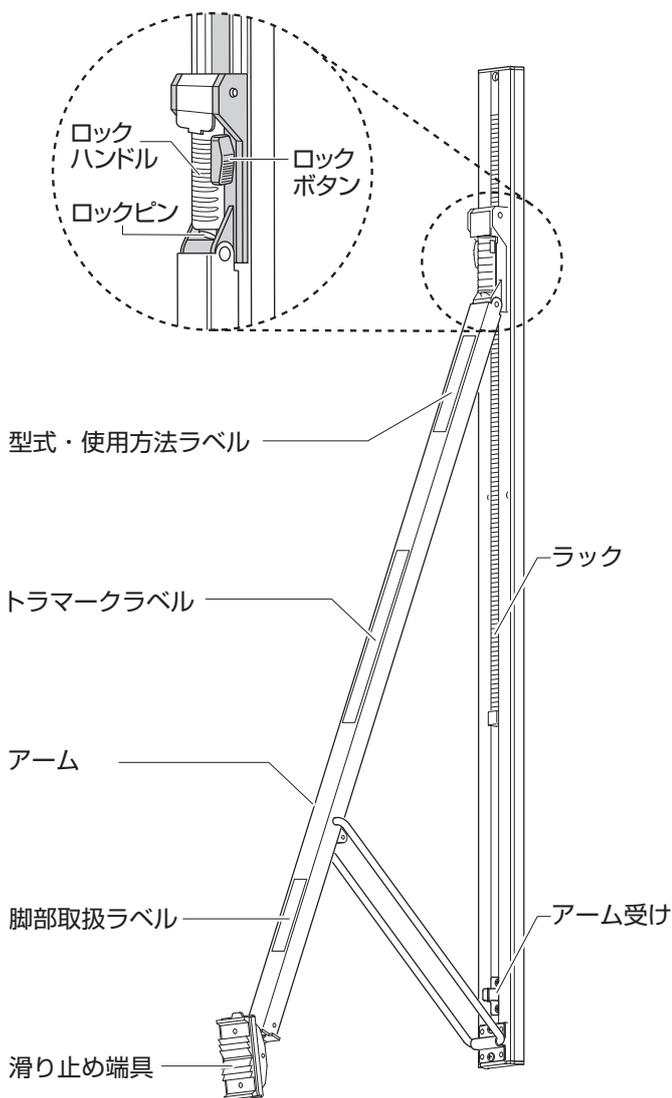
STL 取扱説明・取付要領書

この度は弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
この説明書は製品の使いかたとご使用上の注意を記載しています。
製品のご使用前に必ずこの取扱説明書を読んでください。お読みになった
あと、いつもそばに置いて、わからないときにご再読ください。

- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この説明書を必ず添付してください。
- 本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

もくじ	各部の名称	表紙
	必要な工具	表紙
	適合機種	表紙
	内容物	表紙
	安全上のご注意	1
	ご使用前の点検	1
	お手入れの方法	1
	保管の方法	1
	スタビライザーの使いかた	2
	「故障かな?」と思ったら(不調診断)	2
	取付要領 (STL-550・850)	3
	取付要領 (STL-1200)	5

各部の名称



必要な工具

- **STL-550 / STL-850**
 - 電動ドリル(ドリル径:φ6.5)
 - プラスドライバー
 - ソケットレンチ(10mm)
- **STL-1200**
 - 電動ドリル(ドリル径:φ5.2)
 - プラスドライバー
 - スパナ(8mm)

適合機種

脚立 オプション

- **STL-550**
RC-12 / RAX-12 / RH-12 / RD-12 / RS-12 / RHB-12
- **STL-850**
FAM330~420 / KS-15・18 /
RAX-15~21 / RC-15~21 / RD-15~21 /
RH-15~21 / RHB-15~21 / RS-15~21
SWH-12~30 / TOP-24~30 / TAK-18C~27C / XAM-24~30

はしご オプション

- **STL-1200**
HA1~2 / HC1~3 / HE1~3 /
LA1~3 / LT1~3 / LX1~2 /
RSG / USG

内容物

内容物をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの
販売店もしくは弊社までお申し出ください。

	STL-550	STL-850	STL-1200
取扱説明・取付要領書(本誌)		1	
本体	2	2	2
取付用ブラケット	4	4	-
スペーサー(アルミ製)	-	2	2
六角ボルト M6×16	8	12	-
六角ナット M6	8	12	-
M5	10	14	14
平ワッシャー	8	12	-
スプリングワッシャー M6	8	12	-
M5	-	-	14
ナベビス M5×35	-	-	8
M5×30	8	8	※
M5×25	-	-	2
M5×20	2	2	4
皿ビス M5×20	-	4	4
※黒スペーサー(樹脂製)	-	-	6
※ナベビス M5×40	-	-	8
M5×30	-	-	2
※皿ビス M5×25	-	-	4

※印の部品は『LXシリーズ』への取り付けのみに使用します。
取り付ける機種によっては使用しませんのでご注意ください。

安全上のご注意

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

この取扱説明書に書かれた使いかた以外の使用方法や注意事項を守らずに、事故を起こされても責任を負いかねますのでご了承ください。

誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害を区分して説明しています。

警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。

注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

次の図記号はお守り頂く内容を説明しています。

! この表示は、「実行しなければならない」内容です。

⊘ この表示は、「してはいけない」内容です。

警告

⊘ 安定性補助器具としての用途以外の使いかたをしない。
ケガや器物損傷のおそれがある。

! 取り付けるはしご/脚立の最大使用質量の範囲内で使用する。
転倒、転落や本製品の変形などのおそれがある。

⊘ 改造・分解しない。
本製品の破損による転倒や転落のおそれがある。

⊘ 子供や取扱説明書・ラベルの内容が理解できない人には使用させない。
ケガや器物損傷のおそれがある。

⊘ 子供が使用できる状態で放置しない。
ケガや器物損傷のおそれがある。

! 使用前には必ず点検を行い、異常の有無を確認する。
ケガや器物損傷のおそれがある。

⊘ 破損や変形した本製品は使用しない。
ケガや器物損傷のおそれがある。

⊘ 高さ調節のためにアームにパイプや木などをつないだり、台や箱の上に乗せて使用しない。
転倒や転落のおそれがある。

! 適合機種以外の製品に取り付けない。
転倒、転落や本製品の変形などのおそれがある。

! はしご/脚立 本体の使いかたと注意事項は、本体に付属の取扱説明書に従うこと。

注意

⊘ 本体に貼り付けているラベルがなくなったり、読めなくなったりした場合は、製品を使用しない。
ケガや器物損傷のおそれがある。

! 本製品を他者に貸すときは、取扱説明書も合わせて貸し出す。

⊘ 本製品を引きずったり、投げたりしない。
変形や破損のおそれがある。

ご使用前の点検

目で見て、下記の点検をする。

本製品を使用する前に下記の点検を行い、異常がないことを確認してください。また、異常があった場合は、正しい処置をした後に使用してください。

● ラックに油・泥・雪など、滑りやすい物や固形物などが付いていないか確認する。付着物がある場合はきれいに拭き取る。

点検項目

本製品に下記のような異常がある場合は、使用を中止し、弊社までご相談ください。

× アームの曲がり・ねじれ・へこみ

× 取り付け部品の破損・脱落・変形・摩耗・いちじるしい腐食

× 滑り止め端具の外れやすり減り

× ねじ・ピンなどのゆるみや抜け落ち

ロックハンドル・ロックボタンを操作して、下記の点検をする。

・ゴミなどのかみ込みがないか点検し、あれば取り除く。

・それでも作動しないときは、ロックピンに異常がないか確認する。

※破損、変形、異常がある場合は、絶対に使用しない。

※必ず弊社までご相談の上、新しい部品と交換するか廃棄をすること。

警告

⊘ 製品に異常があった場合、自分の判断で、手直しや補修は絶対にしない。

手直ししても本体や金具の破損が起こり、転倒や転落などの事故の原因になる。

お手入れの方法

はしごにとって泥・汚水・セメント・石灰・海水は大敵です。

いつもきれいにしておいてください。

〈掃除のしかた〉

・汚れは、濡れぞうきんなどできれいに拭き取ってください。

・汚れがいちじるしい場合は、水洗いした後、乾いた布で拭いてください。

・油系の汚れはクリーナーや洗剤で落とした後、クリーナーや洗剤が残らないように、きれいに拭き取ってください。

注意

⊘ クリーナーや洗剤を付けた状態で放置しない。
腐食のおそれがある。

保管の方法

本製品を必要なときに安全にお使いいただくために、十分にお手入れをしてから保管してください。また、転倒による事故や破損を防ぐために、下記の状態でご保管してください。

● 雨や直射日光が当たらない屋内に保管してください。

● 高温にならない場所に保管してください。

● 本製品が濡れているときは、十分に乾燥させてから保管してください。

注意

⊘ 本製品の上に物を置かない。
変形のおそれがある。

⊘ 本製品を屋外に放置しない。
各部の劣化や腐食のおそれがある。

⊘ 農薬やセメント・石灰の近くに本製品を保管しない。
化学反応を起こして腐食するおそれがある。

スタビライザーの使いかた

設置場所について

- ・平坦で安定した場所、滑りにくい場所、またスタビライザーが埋もれない場所を選んで設置してください。
- ・雨や水のかからない場所、強い風を受けない場所に設置してください。
- ・はしご/脚立、スタビライザーの周囲に危険な物がなく、バランスのよい作業姿勢で使える位置に設置してください。
- ・設置後は、はしご/脚立、スタビライザーにガタつきがないか確認し、ある場合ははしご/脚立、スタビライザーの位置を移動してガタつきを取り除いてください。

⚠警告

-  **本製品を取り付けた製品が不安定になる場所や状態で使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。
-  **滑りやすい場所に設置して使用しない。**
転倒や転落のおそれがある。
-  **本製品に異常がある場合は、手直しや補修などをせずに使用を中止する。**
転倒や転落のおそれがある。

使いかた

1. はしご/脚立を設置します。
2. スタビライザーの滑り止め端具を、引っ張り出しアーム受けより外します。
3. ロックハンドルを押しながらロックボタンを押し上げてロックを外します。
4. アームの上部を持ってアームを下げ、アーム先端の滑り止め端具を地面に接地させます。
5. 滑り止め端具を地面に接地させた状態のままロックハンドルを押し込み、ロックします。
(このときロックボタンを使用しないこと)
6. もう一方のスタビライザーも同様の要領でセットします。
7. スタビライザーをロックした時、はしご/脚立全体が少し持ち上がりますが人が乗った時点でもとに戻り接地します。

⚠警告

-  **踏ざんが水平になるように伸縮脚を調整すること。**
-  **全ての伸縮脚を確実にロックすること。**
転倒や転落のおそれがある。
-  **可動部で手をはさまないようにしてください。**
ケガや器物損傷のおそれがある。
-  **伸縮部を乱暴に扱わないこと。**
器物破損のおそれがある。

故障かな？と思ったら（不調診断）

現象	点検する箇所	処置のしかた
・持ち運びや使用中にスタビライザーがギシギシ鳴る。 ・使ったときに、グラグラする。	はしご / 脚立本体とスタビライザーとの接合部に、ゆるみガタつきがありませんか。	ある場合は、締め直してください。 それでも直らない場合は、使わないで廃棄してください。
	はしご/脚立やスタビライザーに変形はありませんか。	ある場合は、使わないで廃棄してください。
・はしごを立てかけスタビライザーを設置したとき、設置面が水平であるのに、ガタガタする。	スタビライザーのアームが変形していませんか。	ある場合は交換するか使わないで廃棄してください。
	滑り止め端具が外れたり、すり減ったりしていませんか。	ある場合は、弊社までご相談ください。
	滑り止め端具がスムーズに動きますか。	動かない場合使わないでください。 (弊社までご相談ください。)

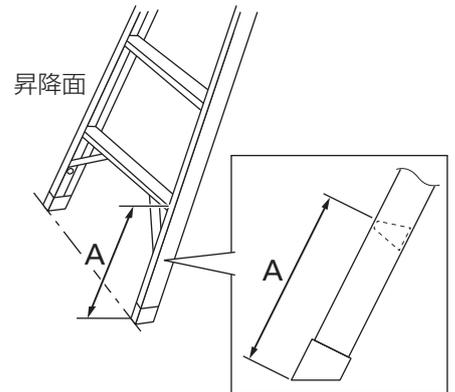
STL-550・850 取付要領

1. お手持ちの脚立の支柱に取付用の穴を開けてください。

・右の図を参考にして、端具先端から1段目ステップ上面までの距離(A寸法)を測り下記の条件に従って、 $\phi 6.5$ mmの穴を開けてください。
(寸法通り印をつけた後、ポンチを打つと正確に穴があけられます。)

STL-550 (120 サイズ用) : 片側 4ヶ所
STL-850 (150 サイズ~) : 片側 6ヶ所

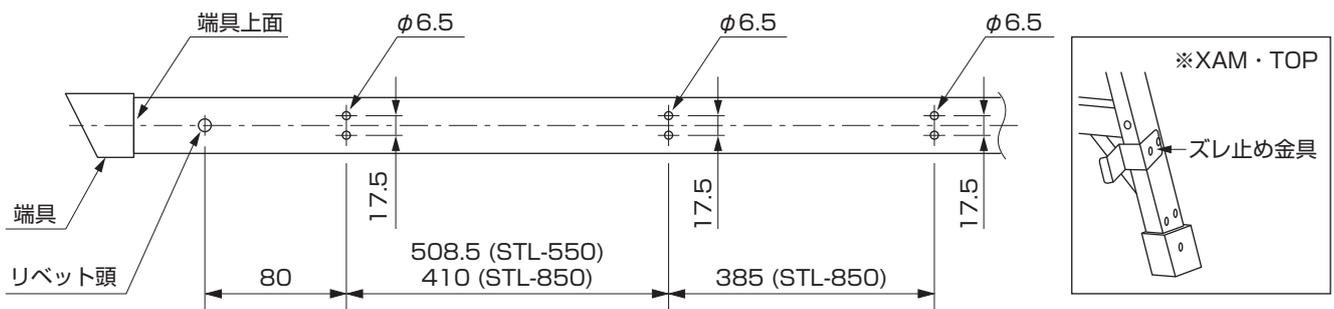
・同じ機種でも取付位置が異なるものがありますのでご注意ください。



A寸法が230mm以下の場合

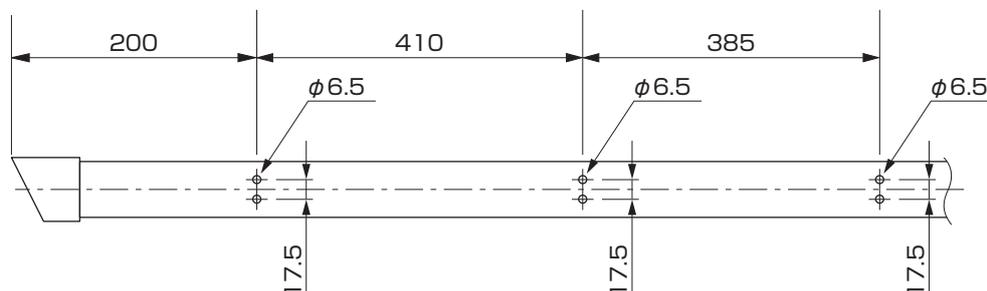
補助金具(斜材)のリベット位置から80mmのところを基準にして穴をあけてください。
※リベットが端具に隠れている機種は端具の上から80mmの位置を基準にして穴をあけてください。
※XAMとTOPはズレ止め金具がついていない脚パネル側に取り付けてください。

STL-550・850



A寸法が230mm以上の場合

STL-850



※SWH・FAMは取付ブラケットを使用せずに取り付けます。
取付位置は右図をご参照ください。



2. スタビライザーにブラケットを取り付けます。

図 1 を参考にブラケットの開口部が脚立の内側を向くように取り付けてください。

STL-550 上部：ナベビス (M5x20) 1本で固定
下部：ナベビス (M5x30) 4本で固定

STL-850 上部：ナベビス (M5x20) 1本で固定
中央部：皿ビス (M5x20) 2本で固定
下部：ナベビス (M5x30) 4本で固定

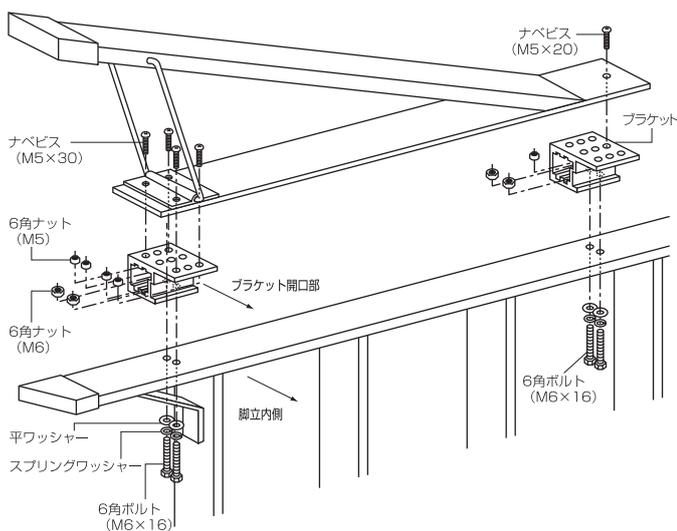
※ブラケットは、取付場所により捨て穴が生じますが、強度上まったく問題はありません。

3. 2.で組んだブラケット付スタビライザーを、支柱(左右)に取り付けます。

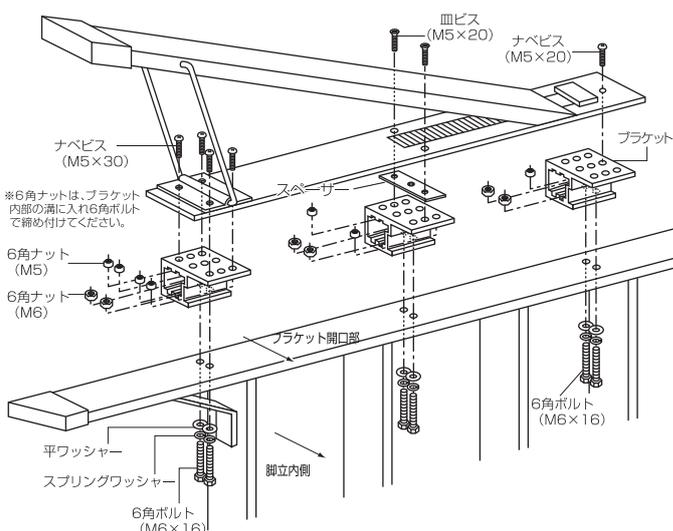
ボルト (M6x16)・ナット・ワッシャーで、
左右を間違えないようブラケットの開口部が脚立内側になるように取り付けます。

【図 1】

STL-550：ボルト締め 片側 4ヶ所 (計 8ヶ所)



STL-850：ボルト締め 片側 6ヶ所 (計 12ヶ所)



4. 使用前に必ずボルト・ビス類が確実に締め付けられているか点検の上、ご使用ください。

はしご オプション

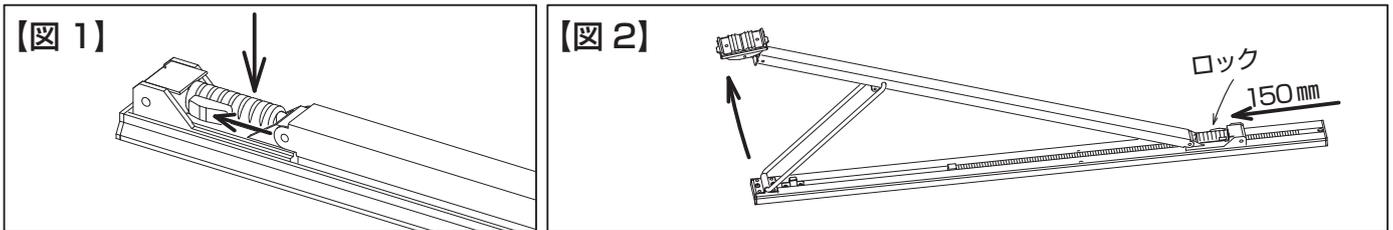
STL-1200 取付要領

1. 右用と左用があります。

- ・ロックハンドルのロックボタンが、はしごの昇降面側になるように取り付けてください。
左右の識別は本体のラベルをご参照ください。

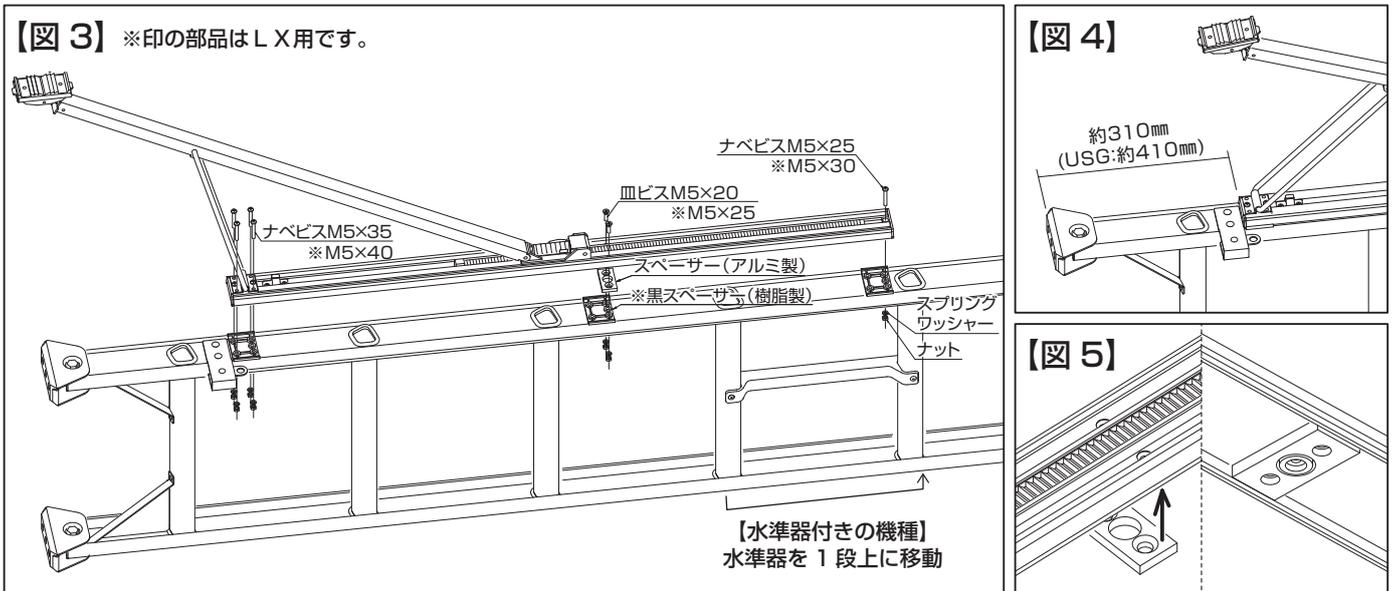
2. アームを広げロックしてください。

- ・ロックハンドルを押しながら上部のロックボタンを上へスライドし、ロックピンを解放します。【図1】
- ・滑り止め端具を外側に引っ張り、アームを広げます。【図2】
- ・ロックハンドル部を約150mmスライドした位置で、ロックハンドルを押し込んでアームを固定します。



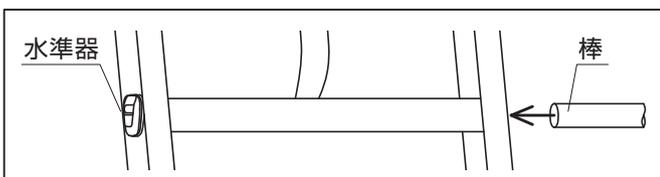
3. 取付ける位置を決めます。

- ・取り付け位置の全体参考図をご参照ください。【図3】
 - ・水準器付きの機種は水準器を一段上に移動してください。【図3】
 - ・脚端具の底面からスタビライザーの下端部が約310mmになるところで位置決めします。【図4】
USG シリーズは約410mmで位置決めします。
 - ・中央部にアルミ製スペーサーを忘れずに取り付けてください。【図5】
- ※部品と接触するときは、上下50mmの範囲で調節してください。
※伸縮式ははしごの場合、はしごの伸縮に支障がないかも確認してください。



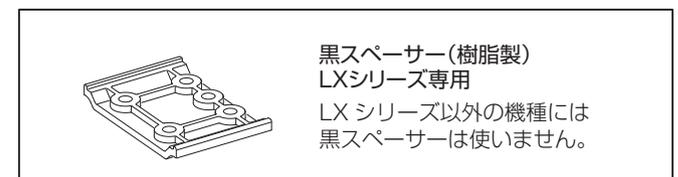
水準器の外しかた

マイナスドライバー等で支柱との並行を保ちながら少しずつ慎重に取り外すか、反対側から、Φ20mm程度の棒で押して外してください。



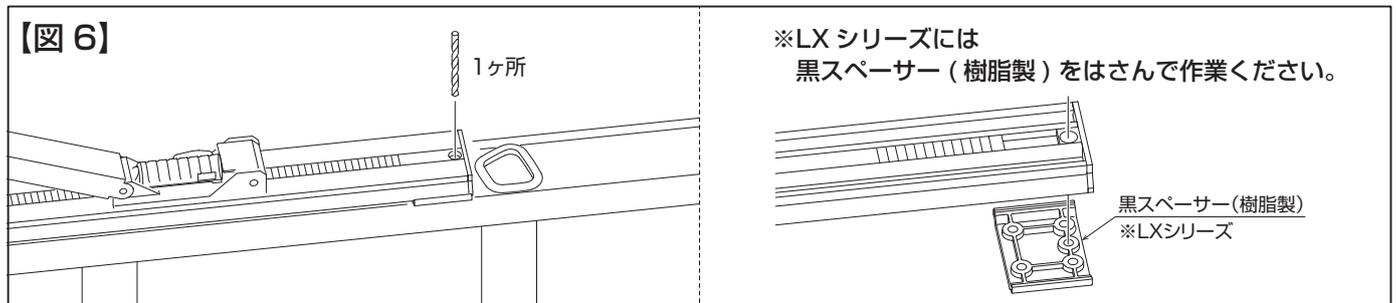
LXシリーズに取り付けの注意ポイント

黒スペーサー(樹脂製)と専用のビスを使用します。
図3の通り、片側3枚の黒スペーサーをはしごの間にはさんでください。



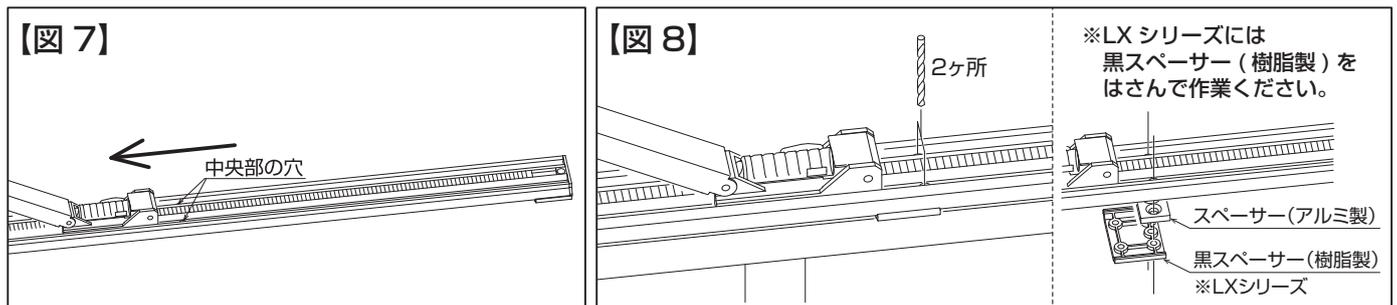
4. 上部の取り付け穴加工と固定。

- ・スタビライザー上部の穴に合わせ、 $\phi 5.2$ のドリルで支柱に 1ヶ所穴をあけてください。【図 6】
- ・その穴にナベビスとスプリングワッシャー・ナットで仮止めしてください。



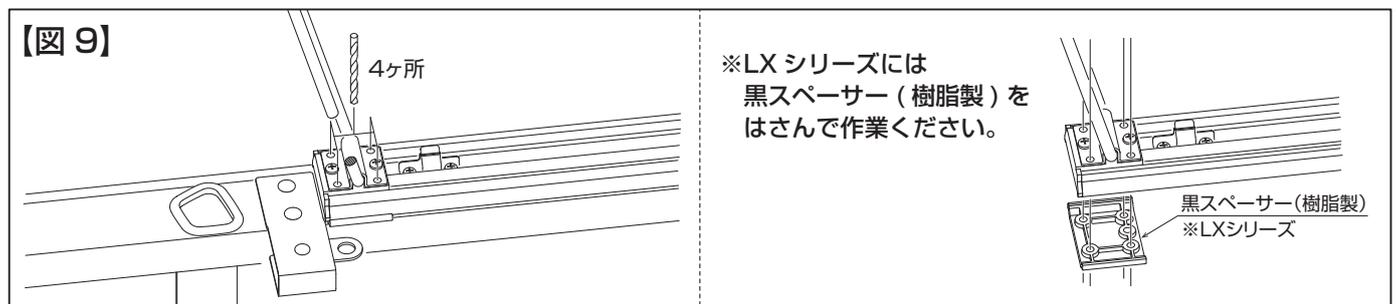
5. 中央部の取り付け穴加工と固定。

- ・2. と同様にロックを解除し、中央分の取り付け用穴が見えるまでロックハンドル部をスライドし、固定します。【図 7】
- ・中央の穴に合わせ、 $\phi 5.2\text{mm}$ のドリルを使って支柱に 2ヶ所穴をあけてください。【図 8】
- ・その穴にサラビスとスプリングワッシャー・ナットで仮止めしてください。



6. 下部の取り付け穴加工と固定。

- ・スタビライザー下部の穴に合わせ、 $\phi 5.2\text{mm}$ のドリルで支柱に 4ヶ所穴をあけてください。【図 9】
- ・その穴にナベビスとスプリングワッシャー・ナットで仮止めしてください。



7. ビス締め付け・確認。

- ・もう一方も 2.～6. に従い仮止めしてください。
- ・仮止めした全てのビスを確実に締め付け固定します。
- ・確実に取り付けられているか再度確認します。

長谷川工業株式会社

〒550-0002 大阪市西区江戸堀 2-1-1 江戸堀センタービル 14F

お客様相談室 TEL 06-6446-1858